

水草研究会第44回全国集会（北海道）の御案内（第2回）

水草研究会第44回全国集会は、現地役員（首藤・山崎）による新型コロナウイルスの感染拡大状況にあわせた柔軟な対応を見込んで、北海道札幌市で開催する運びとなりました。札幌市での開催は、16年ぶりとなります。エクスカージョンは札幌市近郊の水辺を予定しています。様々な制限のもとでの開催ではありますが、皆様に北方の水草の魅力お伝えできるよう準備中です。参加をご検討いただければ幸いです。

今集会では、感染症対策を重視し、会場およびバスの規模に基づき定員を設けたうえで、会員のみ参加に限らせていただくことにいたしました。また、懇親会は実施しない予定です。当日参加は受け付けませんので、必ず期限までにお申し込みいただくようお願いいたします。

1. 開催日時：2022年8月27日（土）～28日（日）

・ 8月27日（土） 研究発表会・総会

- 12:00～ 全国集会受付
- 13:00～13:30 総会
- 13:30～16:30 研究発表会（口頭発表）
- 16:40～17:50 研究発表会（ポスター発表）
- 18:00 終了

・ 8月28日（日） エクスカージョン

- 8:30 札幌駅北口集合
- 9:00～10:00 札幌市北区屯田川（ハイドジョウツナギ、クサヨシ、マツモなど）
- 10:30～12:15 札幌市東区さっぽろさとらんど（ヒンジモ、エゾヤナギモなど）
- 12:45～14:30 札幌市東区石狩川右岸（ミズアオイ、エゾノミズタデなど）
- 15:00～16:00 茨戸川（ゴハリマツモ、ホザキノフサモ、リュウノヒゲモなど）
- 17:00 札幌駅北口解散

- * 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、現地開催を断念し、オンライン開催に切り替わる可能性があります。
- * 研究発表会の演題・発表者は別紙を参照ください。発表演題の登録締め切りを延長したため、タイムスケジュールはまだ決定しておりません。
- * 予定は変更になる場合があります。
- * 必ず事前に参加をお申し込みください。当日参加は受け付けません。
- * 感染症対策のため、90名を定員とします。お早めの参加申込をお勧めいたします。
- * 現時点では懇親会は実施しない予定です。

2. 会場

・ 研究発表会・総会：

北海道大学札幌キャンパス 学術交流会館 小講堂
〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西5丁目
(JR札幌駅から徒歩10分)

<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/s01/>

※自家用車でのキャンパス入構はできません。公共交通機関をご利用ください。

・ 役員会：北海道大学総合博物館 実習室

〒060-0810 北海道札幌市北区北10条西8丁目 (011-706-4508)

(JR札幌駅から徒歩15分、札幌市営地下鉄南北線北12条駅から徒歩10分弱)

<https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

(裏面に続く)

3. 大会参加費（当日会場受付でお支払いください）

- ・ 研究発表会参加費 一般2,000円、学生1,000円予定（※受付で学生証を提示）
- ・ エクスカーション参加費 一般・学生5,000円予定（※参加者数により変動）

- * コロナウイルス感染防止対策のため、例年よりも割高となっております。
- * 参加人数等により、参加費が変動する場合があります。

4. 宿 泊

宿泊施設は各自でご予約ください。札幌駅北口周辺にあるホテルが、距離も近く便利です。**ただし、28日は北海道マラソンの開催日です。**北海道大学構内もコースとなっておりますので、キャンパス周辺は混雑が予想されます。

5. 発表・参加申込み締め切り

- ・ 口頭・ポスター発表申込み締め切り： 7月20日（水） **※締切を延長しました。**
- ・ 参加申込み締め切り： 7月20日（水）
- ・ 発表要旨締め切り： 7月29日（金）

- * お申込みは、下記のURLよりWEB申込みフォームをご利用ください（推奨）。

WEB申込みフォームURL：<https://forms.gle/uw7Z5AMrM6iigHA28>

（URLリンクは水草研究会ホームページにも掲載しております。）

- * 申し込みフォームをご利用の場合、送信後に自動返信メールが送信されますので、必ずご確認ください。自動返信メールが届かない場合、申込みができていない可能性がありますので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。オンライン総会・研究発表会では同様のトラブルが散見されましたので、ご協力お願いいたします。
- * 別添の申込み書を用いて電子メール・郵便からお申し込みいただけます。
- * 研究発表は、発表者の中に水草研究会の会員が含まれている必要があります。
- * 発表の申込状況によっては、発表形式の変更をお願いすることがあります。

6. 発表要旨

要旨のテンプレートを用意しておりますので、ご使用ください（推奨）。

要旨テンプレート：http://mizukusaken.jp.sakura.ne.jp/MTG/WPSJ_abstract_template.docx

要旨はA4（タテ）1ページ以内、余白は四方30mm、フォントはMS明朝（和）、Times new Roman（英）、行数37行、一行文字数40字で作成ください。1行目はタイトル（フォントサイズ12pt）、1行スペースを空けて発表者と所属（サイズ10.5pt、当日発表される方の名前の前に“○”を付けて下さい）、また1行スペースを空けて本文（フォントサイズ10.5pt）を始めて下さい。図表を挿入しても結構ですが、印刷は白黒で行います。発表要旨を電子メールで送信する場合は、MS-word形式とpdf形式の2つのファイルを添付してください。

7. 発表要領（発表者の方へ）

【口頭発表】

- ・ プロジェクターを使用し、発表時間は発表12分、質疑応答3分の計15分です。
- ・ 会場のパソコン（Windows 11、Office 365）をご利用される方は、大会受付の際に、係の案内に従いデータの移動を行ってください。
- ・ ご自身のパソコンもご利用いただけます。接続ケーブルは一般的な15ピン（RGB）およびHDMIを準備いたします。それ以外の規格のノートPCをご利用の方はご自身でケーブル等をご用意ください。

【ポスター発表】

- ・ ポスターの大きさは横90 cm×縦180 cm以内で制作してください。
- ・ ポスターは口頭発表開始時間までに会場の指定された場所に掲示してください。画鋏もしくはテープをこちらでご用意いたします。
- ・ 最終的に集まった演題数および参加者数により、ポスターの発表形態（感染拡大対策）を決定します。場合によっては、ポスター前での議論を行わない可能性もあります。詳しい内容については実行委員より追ってご連絡いたします。
- ・ ポスターの撤去は、発表会終了後すみやかに行ってください。

8. 問い合わせ先

〒060-0810 北海道札幌市北区北10条西8丁目 北海道大学総合博物館
首藤光太郎
TEL : 011-706-4508 E-mail : wpsj.meeting@gmail.com

9. 水草研究会第44回全国集会の新型コロナウイルス感染防止対策

水草研究会第44回全国集会では、開催運営に際し、新型コロナウイルスへの感染防止対策を以下に示すとおり行ってまいります。

1. 懇親会

懇親会は実施しない予定です。

2. 研究発表会・総会

約180名を定員とする小講堂で、入場人数を半数以下に絞って実施します。このため、定員を90名としました。

3. エクスカーション

エクスカーション時のバス移動では、1台の乗車人数の乗車定員の半数以下に絞ります。大型バスを2台準備する予定です。

4. 中止の判断

感染拡大状況によっては、やむを得ず現地開催を断念する可能性があります。できるだけ開催日の1ヶ月前までに中止を判断したいと考えておりますが、感染拡大状況によっては直前に中止を判断することになる可能性もあります。中止となった場合は、オンラインでの総会・研究発表会の開催に切り替えます。なお中止の基準は、北海道内または札幌市に対して非常事態宣言・まん延防止等重点措置が出され本大会会期中に解除される可能性が無いことが見込まれる場合となります。また、北海道または札幌市がこれらに相当する独自措置を講じた場合にも大会を中止いたします。中止が決定した場合には速やかに参加者にご連絡いたします。

5. その他

感染状況によっては、大会参加前のPCR検査や、ワクチン接種状況の確認をお願いする可能性があります。

水草研究会第44回全国集会 実行委員（首藤光太郎・山崎真実）

（裏面に続く）

水草研究会第44回全国集会 研究発表プログラム（暫定版※）

※ 発表登録は、当初の予定を延長して、現在も受け付けております。このため、タイムスケジュールは省略しています。また、内容（発表番号、発表タイトル、題目数、発表形態等）は、大会当日までに変更が加わる可能性があります。

口頭発表（13:30-17:00）〔発表12分・質疑応答3分、○：演者〕

- O-01 日本のヒンジモは全て同じクローンか？：ゲノム縮約情報に基づく遺伝的多様性の評価
○李 裕梨¹，内藤芳香¹，加藤 将²，首藤光太郎³，陶山佳久⁴，志賀 隆^{1,2}（¹新潟大・院・自然科学，²新潟大・教育，³北海道大・総合博物館，⁴東北大・院・農）
- O-02 世界初！北海道で見つかったヒツジグサとエゾベニヒツジグサの雑種
○内藤芳香¹，加藤 将²，志賀 隆^{1,2}（¹新潟大・院・自然科学，²新潟大・教育）
- O-03 標本作製処理がカンガレイ(カヤツリグサ科)の種子に及ぼす影響
○田中美優¹，平澤優輝¹，加藤 将²・志賀 隆^{1,2}（¹新潟大・院・自然科学，²新潟大・教育）
- O-04 大河川に生育する水生植物種の機能的多様性についての検討
○槐ちがや（土木研・流域生態）
- O-05 白神山地ブナ帯における小規模池沼の植物相について
○山岸洋貴（弘前大・農・白神センター）
- O-06 日本国内のアマゾントチカガミに見られる形態的変異
○山ノ内崇志（福島大・共生システム理工）
- O-07 佐賀県東与賀干潟に生育する塩生植物シチメンソウの立ち枯れの原因について
○上赤博文（佐賀自然史研究会）
- O-08 特定外来生物ナガエツルノゲイトウとの闘い（第1章）～いなみ野式遮光シート工法の開発～
○丸井英幹¹，碓井信久²，大嶋範行²，沼田寛生²（¹エコロジー研究所，²兵庫・水辺ネットワーク）
- O-09 水草の再生可能性を残すために
○西廣淳（国環研）
- O-10 石狩低地帯へ再び！？ エクスカーションで観察予定の水草たち
○首藤光太郎¹，山崎真実²（¹北海道大・総合博物館，²札幌市博物館活動センター）

ポスター発表（17:10-17:40）

- P-01 国内希少種ナガバエビモの保全を目的とした繁殖特性の研究
○福田ゆき¹，響田圭又²，渡邊嘉人³，槐ちがや⁴，廣田充⁵，田中法生³（¹筑波大・生物，²農研機構・生物機能，³科博・植物園，⁴土木研・流域生態，⁵筑波大・生命環境）
- P-02 日本固有車軸藻類チュウゼンジフラスコモの新たな集団の発見
○加藤 将¹，志賀 隆¹，石戸谷芳子²，堀内 弦³，山岸洋貴⁴（¹新潟大・教育，²津軽植物の会，³弘前市みどりの協会，⁴弘前大・農・白神センター）
- P-03 水辺の植物コーナーの展示について
○内藤麻子（和歌山県立自然博物館）